

社協 たからづか

宝塚市社会福祉協議会

第258号

\\ホームページも!\\



社協たからづかは、自治会・民生児童委員等のご協力により市民のみなさまからいただきました社協会費と赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

令和4(2022)年3月1日発行

スマホでユルく
つながる
自治会のカタチ



もっと だれでも 参加しやすい 自治会のカタチって？

自治会は、高齢者・子どもの見守りや地域の防災において、現在も重要な役割を果たしています。

今後、暮らし方や価値観がより多様化する中でも自治会活動を継続するために、現役世代も高齢者も無理なく参加できる自治会のカタチを模索している、寿楽荘自治会の取り組みを紹介します。



お話ししてくれた方
寿楽荘自治会 会長
崎山 隆司さん
46才。宝塚在住13年目。会社勤めをしながら、2020年から寿楽荘自治会の自治会長をしている

自治会活動をもっと身近に

「自治会がどんな活動をしているのかわからない」。
私自身、自治会の班長になるまでそう感じていましたし、自治会のみんなも情報発信のあり方を課題に感じていました。**自治会活動に共感・賛同してくれる方々を増やすため**にも、自治会活動をもっとオープンにして、自治会員の積極的な意見交換を図る方法を考える必要がありました。

そのため2020年から、会員全員に周知すべきものは従来どおり回覧板を使いながら、日頃の自治会に関する情報共有を、*LINEオープンチャットを活用した「**イドバタ会議室**」でおこなうことにしました。イドバタ会議室の導入にあたり、前自治会長を筆頭に自治会員に何度も説明するほか、毎週開催しているサロンの中で、イドバタ会議室の使い方をレクチャーするなど、高齢者も自治会活動に参加し続けられるように工夫しました。

*LINEオープンチャットとは…コミュニケーションアプリ「LINE」のトークルーム上で、会話や情報交換ができる仕組み。個人のアカウントとは別のプロフィールを設定できるため、個人情報のことを気にせず、気軽に参加できる



週1回のサロン「桜のつぼみ」



若い世代がイベント情報を拡散した結果、他の自治会の人もたくさん参加しました

「**イドバタ会議室**」は誰でもコメントできるのがメリットです。特に若い人はコメントの書き込みに慣れているので、イドバタ会議室は40代、50代の現役世代が気軽に情報発信したり、自治会活動に意見を反映できる場になりました。

さらに、高齢者がサロンで話している「最近、詐欺電話がかかってきた」「ペットのマナーが気になる」といった話題をイドバタ会議室で共有するなど、世代を超えてコミュニケーションがとれるようになりました。

また、イドバタ会議室のコメントを眺めるだけでも、地域で起きていることを知れるという、**地域でのゆるいつながり方**は、今までになかった自治会の形かもしれません。

やっぱり自治会って必要なんだ

ある時、自治会員がイドバタ会議室で困りごとをコメントした時、「実は私も困っている」と複数の声が挙がり、今まで埋もれていた困りごと気づくきっかけとなりました。そして、困りごとへの対応策をみんなで一緒に考えて行動したことで、「**カタチは変わっても、やっぱり自治会活動って必要なんだ**」と、再確認することができました。

最近、寿楽荘自治会は子育て世代の入居が目立ちます。積極的に自治会活動に参加してもらえる環境をつくり、親も子も安心して暮らせるまちになるにはどうすればよいのか、今後もみんなで試行錯誤していくつもりです。



宝塚市社会福祉協議会は、身近な地域のつながりづくりをすすめていきます

思わず行きたくなる、宝塚にある
素敵なまちのおみせをご紹介します。

まちのおみせ koti

阪急清荒神駅から徒歩10分。老舗と新店の入り混じる参道を上げれば、木製の家具が並ぶあたたかな空間が目に入る。「koti(コティ)」はフィンランド語で「おうち」の意味。「おかえり」と出迎えられる、笑顔になれる親子カフェとして4月14日にオープン予定。



koti(コティ) 4月14日オープン

清荒神 5-1-8 INCLINE 1F
営業時間：9:00～13:30
営業日：月・火・木・金
定休日：水・土・日・祝
ホームページ <https://koti3.amebaownd.com>



宝塚にある『すてきなもの』をつなげたい

kotiを運営する板倉さんと長谷川さんは、元幼稚園教諭のお母さん。子育て中には「たまには一息ついてお茶したい」という気持ちを抱えながら、家にこもって過ごし、誰ともしゃべらない日も経験しました。

「私たちは、「子育て中のお母さんの助けになることをしたい」という気持ちが一致し、情報収集を始めました。幼稚園や児童館など、子育てを通して出会った人たちがどんどんつながり、清荒神の地で親子カフェを始めることになりました。」

カフェといっても、フリードリンクでランチの持ち込みや参道商店街の出前注文もOK。ワークショップや小物販売も行います(写真)。店内メニューは北風珈琲(月見山)の珈琲やcafé subako(旭町)のカップケーキ、co.na.mon(中山自宅工房)の焼き菓子など、二人のお気に入りのお店から揃えました。「宝塚のすてきなもの」と「お母さんの声」をつなぎながら、柔軟にカタチを変えていく。そんな新しい取り組みを進めています。

「清荒神エリアは、子連れの方にもおすすめです。駅前には図書館やスーパー、コロケが人気のお肉屋さんがあり、参道には座敷のある飲食店が並びます。お寺に近づく豊かな自然と四季を楽しむこともできる散歩コースです。休憩には、ぜひkotiでゆっくり過ごしてほしいと思います」。カフェとして、友達づくりや気軽な育児相談としても利用できる、親子の新たなつながりの場。ぜひお立ち寄りください。



1月21日プレ開催のワークショップでは、手遊びやわらべ歌など、子どもを笑顔にするしかけが盛りだくさん。参加者同士のおしゃべりの中から、運営のヒントをひろいます。



④「赤ちゃんを抱っこしながら食べられるホットサンド」を開発中。
⑤お母さん作家の小物販売。人同士のつながりから、活躍の場が広がる。



遊ぶ子どもを見ながら、ゆっくりお茶を楽しめる。



左:板倉さん、右:長谷川さん

「地域のつながり」を大切にする市内のお店を紹介しています。おすすめのお店や掲載依頼は宝塚市社会福祉協議会(☎86-5000)まで

令和3年度共同募金 ありがとうメッセージ

宝塚のまちで、孤立する人が少しでも減り、誰かとつながり続けられるように。ご協力いただいた募金は、宝塚の地域福祉活動や年末年始のつながりづくりを通じて、あなたやあなたのご家族、ご近所、ご友人など、大切な人に届けさせていただきました。

赤い羽根共同募金 8,775,368円 (令和4年1月18日時点)



- 自治会 32,025件
- 民生委員関連 666件
- 学校・園 83件
- 地域団体・個人 112件
- 企業 11件
- 市職員・福祉施設職員 484件
- 募金箱 95箇所
- 街頭募金 20回



宝塚市手をつなぐ育成会

こんな活動やつながりができました(抜粋)
障害のある方と地域のつながりに

障害のある子を持つ親にとって「親亡き後」のことは大きな心配ごとです。子どもや親の想いを記したファイルを作り、地域や関係機関と共有しました。住み慣れた地域でしあわせに暮らしていくためには重要なファイルになります。ありがとうございました！

歳末助けあい愛の持ち寄り運動 7,500,698円 (令和4年1月18日時点)



- 自治会 29,644件
- 民生委員関連 328件
- 学校・園 60件
- 地域団体・個人 17件
- 企業 11件
- 市職員・福祉施設職員 378件
- 募金箱 96箇所
- 街頭募金 13回



子育てグループ「つながり」

こんな活動やつながりができました(抜粋)
新たなつながりのきっかけに

募金の助成金をきっかけに、はじめてイベント企画に挑戦しました。メンバーと試行錯誤しながら開催したクリスマス会は、たくさんの笑顔を見ることができ、地域のつながりや募金について、子どもと共に考えるきっかけになりました。ありがとうございました！

地域の方をはじめ、学校・園、行政、企業、法人など、様々な方からご協力いただいた結果、赤い羽根共同募金は3年連続の増額、歳末助けあい愛の持ち寄り運動は昨年を約30万円上回る募金をいただくことができました。ありがとうございました！



宝塚市緊急通報システム事業のご案内

体調不良など自宅内での緊急時、ボタン1つで相談センターにつながり、救急車を呼ぶことができます。民生児童委員や地域住民をふくめた地域の見守り体制づくりを目指す事業です。



- 利用対象者** おおむね65歳以上、もしくは身体障害者手帳1・2級をお持ちで、ひとり暮らしの方。同居家族がいても要介護状態であったり、日中不在の場合は応相談。
- 利用条件** 固定電話回線 (NTTアナログ回線推奨) があり、近隣の福祉協力員を2～3名登録できる方。
- 利用料金** 月額0円～600円 (世帯所得に応じる)

まずはお気軽にお問合せください！ 宝塚市社会福祉協議会 ☎86-5000

「もったいない」を「ありがとう」にフードドライブにご協力下さい

家庭で余っている、食べきれない食品があれば、ぜひお持ち下さい。集められた食品は、宝塚社協を通じて、市内で食を必要としている団体や子ども食堂などに提供されます。



詳細はコチラ



受付できる食品

常温保存が可能なもの (冷蔵・冷凍食品以外)、未開封のもの、賞味期限が1カ月以上あるもの
※アルコール類 (みりん・料理酒は除く) や手作り品は受付不可

問合せ

ボランティア活動センター
☎86-5001
FAX: 83-2425

受付店舗	期間
ダイエー宝塚中山店 グルメシティ小林店 KOHYO逆瀬川店	毎月第3月曜から第4日曜の営業時間内
ぷらざこむ1	月曜～土曜 9時～17時
宝梅ハウス	毎週水曜 13時30分～16時
ごてんやまハウス	第2火曜 10時～12時
あいえる逆瀬Work	月曜～金曜 10時～16時
ラ・ビスタよりあいひろば	月曜～金曜、第1・3日曜 13時～16時
宝塚市総合福祉センター	月曜～土曜 9時～17時30分

福祉のお仕事 相談窓口

「福祉のお仕事ってどんな感じ?」「資格も経験もないけど大丈夫?」
そんな疑問にお答えしながら、福祉のお仕事さがしを応援します。

日時: 毎週金曜 (祝日を除く)
10時30分～12時、
13時～16時30分

場所: 宝塚市総合福祉センター
費用: 無料 **申込**: 不要

問合せ: 兵庫県福祉人材センター
☎078-271-3881
FAX: 078-271-3882

MAIL: jinzai@hyogo-wel.or.jp



YouTubeでも福祉のお仕事を紹介しています

地域でいきいき暮らしていくために 障害のある方が望むことと、周囲の配慮

手話通訳・要約筆記あり

相互理解、権利擁護の重要性を学ぶ市民講座です。障害のある方、地域のサロン活動者が登壇します。

日時: 3月15日 (火) 10時30分～12時 **場所**: 宝塚市総合福祉センター

費用: 無料 **講師**: 一般財団法人 フィールド・サポートem. 栗原久氏

対象: 宝塚市民・または在勤

主催: 宝塚市社会福祉協議会

宝塚市立安倉西・南身体障害者支援センター
障害者相談支援センター スミレン

定員: 100名 **申込**: 3月11日 (金) までに、下記へFAXまたは電話下さい

問合せ: 宝塚市立安倉西身体障害者支援センター ☎81-2032 FAX: 81-6243

宝塚市立安倉南身体障害者支援センター ☎86-1734 FAX: 86-1641

初心者のためのInstagram (インスタグラム) 講座

Instagramで楽しく、効率的に情報発信する方法を学びます

日時: 3月15日 (火) 10時～11時30分

場所: 男女共同参画センター

費用: 1,000円 **定員**: 12名 (要予約)

申込: ホームページ内のリンクから申し込み下さい

問合せ: 女性起業研究会SPACE宝塚 担当: 田中
☎090-9078-2872

MAIL: espace.takarazuka@gmail.com

詳細や他のイベント情報は

女性起業研究会 SPACE 宝塚 🔍 で検索



令和4年 囲碁入門教室 募集中

日時: 4月～令和5年3月

第2・4水曜日 14時30分～16時30分

場所: フレミラ宝塚 (売布東の町12-8)

費用: 年間2,000円 (別途テキスト代1,000円)

講師: 宝塚市囲碁同好会のボランティア

対象: 60歳以上の市民

定員: 25人 (先着)

申込: 3月11日 (金) までに下記へ電話下さい

問合せ: フレミラ宝塚 (宝塚市立老人福祉センター)
☎85-3861 FAX: 85-3882

第1回 安倉フェア

「あくらふれあいコンサート」がリニューアル! みんなが主役のイベントです。

日時: 3月5日 (土) 13時～16時00分

場所: 宝塚市総合福祉センター **費用**: 無料

内容: 安倉中学校吹奏楽部による演奏 (1部: 13時30分～、2部: 14時10分～)

安倉児童館の子どもたちによるリボンダンス発表 (15時～)

その他、安倉にお住まいの方の作品展示などもあります

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、作品展示のみとなる場合があります

主催: コミュニティ安倉・宝塚市社会福祉協議会

後援: 安倉中学校区青少年育成市民会議・宝塚市立安倉中学校 **申込**: 不要

問合せ: 宝塚市社会福祉協議会 安倉地区センター ☎86-5003 FAX: 86-5069

令和4年度 兵庫県ボランティア保険 (市民活動災害共済) 受付開始

日本国内でおこなうボランティア活動中の万が一の事故に備えるための保険です。

受付: 3月1日 (火) ～

補償期間: 受付翌日 (3月受付分は4月1日) ～令和5年3月31日の1年間

費用: 1人500円、または600円 (1年間)

窓口: ボランティア活動センター、各地区センター、宝塚市総合福祉センター

令和4年度 ボランティア活動助成 受付開始

ボランティア活動センター登録グループを対象とした助成金「ボランティア活動助成活動活性費助成」の受付が始まります。現在未登録のグループも、登録いただくことで申請できます。

助成額: 1グループ年間300,000円以内で配分委員会が認めた額

対象期間: 4月1日～令和5年3月31日に実施する事業

申込期間: 4月1日 (金) ～4月23日 (土)

※対象経費や申込方法については、下記にお問合せ下さい。

問合せ: ボランティア活動センター ☎86-5001 FAX: 83-2425

おもちゃ診療所

おもちゃを修理します。直接会場にお持ち下さい。

日時: 3月13日 (日)、
4月24日 (日)
13時～14時30分

場所: ぷらざこむ1

費用: 無料 (部品代は実費)

対象: どなたでも

申込: 不要

